“地域の農業振興” につながる安全・安心な直売活動支援（胆振農業改良普及センター）
～ＰＯＳシステム活用～

背　景

【壮瞥町の概要】

〇水稲や畑作物、野菜、果樹など多種多様な農産物を生産

〇道の駅そうべつ情報館ｉ（アイ）農産物直売所サムズ（以下、「サムズ」）では、町の約半数の農業者が会員登録し、農業の魅力を広く発信

〇「サムズ」では、農業者のほか、家庭菜園的生産者（非農業者）も出荷

【地域の課題】

〇直売所の現状
- 非農業者へ安全・安心の理解を進める必要（リスク懸念）
  →理解を進めないと、出荷量が減少する不安

〇安全・安心な道の駅樹立のための仕組みづくりが求められた

普及活動内容

「サムズ」出荷組合員 76名を対象に活動を展開（H28～R２）

〇安全・安心に対する出荷者の理解度把握と意識醸成

繰り返し研修会を開催（計８回）

〇生産履歴管理の体制づくり支援
- POSシステムとQRコードを活用したトレーサビリティシステムの導入・運用、ルールを整備

ＰＯＳシステム

ＱＲコード

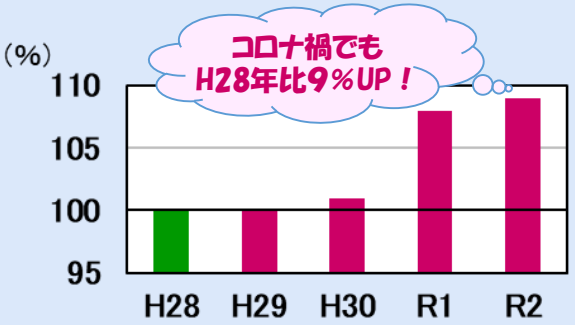
普及の成果

【具体的な成果】

〇全出荷者が栽培暦・生産履歴・ほ場図を作成
- クラウドシステムにより管理

〇安全・安心の仕組みを整備
- 生産履歴の提出を義務化
- 生産履歴の検証（役員でほ場を確認＋外部委託により全ての生産履歴を再検証）

〇安全・安心が消費者の購買意欲につながり、販売金額が増加



販売金額の推移（H28年対比）

【成果のポイント】

〇「サムズ」代表者、役員、店長、出荷者との合意形成

※ＰＯＳシステム：物品販売の売上実績を単品単位で記録し集計するシステム

（連絡先：胆振農業改良普及センター　TEL　0142-23-3195）